

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2007-74558(P2007-74558A)

【公開日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2005-261100(P2005-261100)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/66 D

G 0 6 F 3/048 6 5 4 D

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月8日(2008.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示領域を縦軸方向及び横軸方向に分割して、表形式に構成される複数の部分表示領域にそれぞれ情報を表示する情報表示装置における情報表示方法であって、

表示の対象となる複数の部分表示領域から選択された一の部分表示領域を、前記縦軸方向及び横軸方向に所定の割合により拡大して、表形式に表示する選択部表示制御工程と、

前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、選択されていない他の部分表示領域を拡大または縮小し、当該他の部分表示領域を前記表形式に表示する非選択部表示制御工程とを備え、

前記非選択部表示制御工程は、前記選択部表示制御工程により前記選択された一の部分表示領域に近い位置の他の部分表示領域ほど、前記横軸方向の部分表示領域の幅を広くして前記表形式に表示することを特徴とする情報表示方法。

【請求項 2】

前記選択部表示制御工程は、選択の対象となる前記一の部分表示領域が、表示の対象となる部分表示領域に含まなくなる場合、当該選択の対象を含む範囲に、前記表示の対象となる部分表示領域を切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示方法。

【請求項 3】

前記選択部表示制御工程は、前記選択された一の部分表示領域を拡大する場合、表示される文字あるいは図形を前記所定の割合により拡大して、当該一の部分表示領域内に表示することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報表示方法。

【請求項 4】

前記非選択部表示制御工程は、前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、前記他の部分表示領域内に表示される文字あるいは図形を拡大または縮小して、当該他の部分表示領域内に表示することを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示方法。

## 【請求項 5】

前記表形式の部分表示領域には、前記縦軸方向を時間軸とし、前記横軸方向をチャンネル軸とした、テレビジョンシステムにおける電子番組表の情報が表示されることを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示方法。

## 【請求項 6】

前記表形式の部分表示領域には、前記縦軸方向を週の表示を示す軸とし、前記横軸方向を曜日の表示を示す軸とした、電子スケジュール表の情報が表示されることを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示方法。

## 【請求項 7】

表示領域を縦軸方向及び横軸方向に分割して、表形式に構成される複数の部分表示領域にそれぞれ情報を表示する情報表示装置であって、

表示の対象となる複数の部分表示領域から選択された一の部分表示領域を、前記縦軸方向及び横軸方向に所定の割合により拡大して、表形式に表示する選択部表示制御手段と、

前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、選択されていない他の部分表示領域を拡大または縮小し、当該他の部分表示領域を前記表形式に表示する非選択部表示制御手段とを備え、

前記非選択部表示制御手段は、前記選択部表示制御手段により前記選択された一の部分表示領域に近い位置の他の部分表示領域ほど、前記横軸方向の部分表示領域の幅を広くして前記表形式に表示することを特徴とする情報表示装置。

## 【請求項 8】

前記選択部表示制御手段は、選択の対象となる前記一の部分表示領域が、表示の対象となる部分表示領域に含まなくなる場合、当該選択の対象を含む範囲に、前記表示の対象となる部分表示領域を切り替えることを特徴とする請求項 7 に記載の情報表示装置。

## 【請求項 9】

前記選択部表示制御手段は、前記選択された一の部分表示領域を拡大する場合、表示される文字あるいは図形を前記所定の割合により拡大して、当該一の部分表示領域内に表示することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の情報表示装置。

## 【請求項 10】

前記非選択部表示制御手段は、前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、前記他の部分表示領域内に表示される文字あるいは図形を拡大または縮小して、当該他の部分表示領域内に表示することを特徴とする請求項 7 に記載の情報表示装置。

## 【請求項 11】

コンピュータに読み込ませ実行させることで、前記コンピュータを請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の情報表示装置として機能させることを特徴とするコンピュータプログラム。

## 【請求項 12】

請求項 11 に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ可読の記憶媒体。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報表示方法、情報表示装置、コンピュータプログラム及び記憶媒体

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0010】

すなわち、本発明に係る情報表示方法は、表示領域を縦軸方向及び横軸方向に分割して、表形式に構成される複数の部分表示領域にそれぞれ情報を表示する情報表示装置における情報表示方法であって、

表示の対象となる複数の部分表示領域から選択された一の部分表示領域を、前記縦軸方向及び横軸方向に所定の割合により拡大して、表形式に表示する選択部表示制御工程と、

前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、選択されていない他の部分表示領域を拡大または縮小し、当該他の部分表示領域を前記表形式に表示する非選択部表示制御工程とを備え、

前記非選択部表示制御工程は、前記選択部表示制御工程により前記選択された一の部分表示領域に近い位置の他の部分表示領域ほど、前記横軸方向の部分表示領域の幅を広くして前記表形式に表示することを特徴とする。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

すなわち、本発明に係る情報表示装置は、表示領域を縦軸方向及び横軸方向に分割して、表形式に構成される複数の部分表示領域にそれぞれ情報を表示する情報表示装置であって、

表示の対象となる複数の部分表示領域から選択された一の部分表示領域を、前記縦軸方向及び横軸方向に所定の割合により拡大して、表形式に表示する選択部表示制御手段と、

前記拡大により変更された前記縦軸方向及び横軸方向の表示位置の関係に従って、選択されていない他の部分表示領域を拡大または縮小し、当該他の部分表示領域を前記表形式に表示する非選択部表示制御手段とを備え、

前記非選択部表示制御手段は、前記選択部表示制御手段により前記選択された一の部分表示領域に近い位置の他の部分表示領域ほど、前記横軸方向の部分表示領域の幅を広くして前記表形式に表示することを特徴とする。